

第7回 資源循環型施設建設候補地選定委員会 次第

日 時：平成17年11月 1日(月)

午後2時から

場 所：丸子町 丸子ふれあいステーション

1 開 会

2 委員長あいさつ

3 報告事項

第6回委員会の会議録について

4 議題

(1) 第1次選定候補エリアの確認・・・・・・・・・・(別図1)

(2) 建設可能区域の抽出・・・・・・・・・・(資料1、別図2及び拡大図)

(3) 委員会の進め方について・・・・・・・・・・(資料2、別図3)

(4) 候補地の評価項目の検討・・・・・・・・・・(資料3)

5 その他

(1) 次回委員会 現地調査 11月中旬から12月上旬を予定

(2) 講演会開催について

日時 12月12日(月)午後1時30分から午後4時まで

場所 上田創造館 文化ホール

6 閉 会

上田地域広域連合 資源循環型施設建設候補地選定委員会 委員名簿

(敬称略)

平成17年11月 1日

選出	市町村	氏名	備考
住民代表者 (8人)	上田市	栗田 高子	住民代表
	東御市	宮原 則子	"
	丸子町	上沢 恵人	"
	長和町 (旧長門町)	高角 秀	"
	真田町	若林 政夫	"
	武石村	釜井 善男	"
	長和町 (旧和田村)	樋口 勲	"
	青木村	小山 敏子	"
学識経験者 (2人)	上田市	木口 憲爾	信州大学繊維学部教授 (応用生物科学科)
	上田市	表 秀孝	長野大学産業社会学部教授 (工業経営・環境経営学)
広域連合 議会代表者 (5人)	上田市	川上 清	広域連合議会 議会代表者会座長 (上田市議会副議長)
	上田市	外山 愷	広域連合議会 総務委員会委員長 (上田市議会議員)
	上田市	南波 清吾	広域連合議会 保健福祉委員会委員長 (上田市議会議員)
	東御市	柳澤 旨賢	広域連合議会 保健福祉委員会副委員長 (東御市議会副議長)
	丸子町	片桐 久	広域連合議会 総務委員会副委員長 (丸子町議会議長)

*委嘱期間：平成17年5月から平成18年3月まで

事務局

社団法人 全国都市清掃会議	技術部長	栗原 英 隆
上田市役所 廃棄物対策課	課 長	田 中 行 房
東御市役所 市民課	課 長	大 村 興 敬
丸子町役場 生活課	課 長	新 井 忠 雄
真田町役場 観光商工課	課 長	滝 沢 徹 雄
武石村役場 建設環境課	課 長	掛 川 兼 司
青木村役場 住民福祉課	課 長	中 澤 知賀雄
長和町役場 町民課	課 長	小宮山 正 幸
上田地域広域連合事務局	事務局長	市 村 良 夫
	ごみ処理広域化推進室 室長	宮 澤 俊 文
	ごみ処理広域化推進室 主任	塩 入 学

コンサルタント

国際航業株式会社 公共ビジネス事業本部 環境統括部	環境施設部 課長	尾葉石 優
	環境施設部 主任技師	井 土 將 博
	環境施設部 主任技師	荻 山 徹

建設可能区域の抽出

【候補エリア選定方針】

項目	第1次選定	第2次選定
1 周辺環境への配慮	施設の建設による周辺環境への影響が少ないエリアを選定する。	常に周辺住民から施設の安全が確認できるエリアを選定する。
2 地域特性	周辺住民が集い易く、楽しめるエリアを選定する。	<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民の関心が持てるようなエリアを選定する。 ・ごみ問題の教育、啓発するセンター的な機能が十分発揮できるエリアを選定する。 ・廃棄物関連施設があまり集中しないエリアを選定する。
3 収集運搬効率	主要道路（トンネルは除く）から1 km以内のエリアを選定する。	
4 省エネルギー、クリーンエネルギー、資源循環	省エネルギーの視点で収集車の走行距離を出来るだけ少なくなるようなエリアを選定する。	
5 防災	災害を受けにくいエリアを選定する。	
6 土地利用	地形が比較的平坦なエリアを選定する。	

【第2次選定の考え方】

- ・第2次選定方針から具体的なエリアの評価項目を設定し、エリアを評価することは困難であると考えられる。今後候補地を絞り込む中で選定方針を確認する場を設ける。
- ・第2次選定は候補エリアを絞り込む方法を取らずに、地理情報システム上で一定の条件を設定し、現在残っている候補エリアから建設可能な区域（エリア内にある建設可能地域の大きなまとまり）を抽出することとする。

【建設可能区域抽出条件】

- ・4ヘクタール以上の区域とする。
- ・主要道路から500メートル以内の範囲に入る。
- ・民家やそのほかの建築物が密集していない。
- ・除外区域については柔軟に検討できる可能性を考え可能区域と考えられる場合は範囲に加える。（埋蔵文化財包蔵地、農用地区域、防災関係等で条件によっては可能と考えられる区域）

【別図2及び拡大図1から4】

委員会の進め方について

【これまでの会議開催経過】

回	年月日	主 な 会 議 議 題
1	17.5.24	委員会設置要綱（案）について 上田地域広域連合ごみ処理の概要 建設候補地選定委員会の進め方 情報公開について
2	17.6.21	廃棄物処理技術の最新の動向（セミナー） 地理情報システム活用事例説明 除外地域抽出項目の検討 広域連合のごみ処理の状況 候補地選定のスケジュール（案）について 第3回委員会先進地視察について
3	17.7.5	先進地視察 東京都多摩市 多摩ニュータウン環境組合清掃工場 東京都東久留米市 柳泉園組合 柳泉園クリーンポート
4	17.7.26	ごみ処理広域化計画における統合施設の考え方について 基本事項の確認 過去の候補地選定にあたり設定した条件 地理情報システムによる建設除外地域の検討 候補エリア、候補地の評価・選定に関する作業概要
5	17.8.31	地理情報システムによる除外地域の検討 候補エリアの抽出 候補エリアの選定方針について
6	17.10.3	建設除外地域の確認 候補エリア選定方針の検討 候補エリアの抽出 候補エリアの評価、絞込み
7	17.11.1	第1次選定候補エリアの確認 建設可能区域の抽出 候補地評価項目の検討

【第8回委員会について】

委員会による建設可能区域の現地概要調査【別図3】

【情報公開について】

今後開催される自治会や区長会連合会等の会議の場で、これまでの検討結果をお知らせし、周知を図る。また、そこで出された御意見を委員会に報告する。

（対象 上田市、東御市、丸子町、真田町の自治会、区長会連合会、役員会等）

候補地の評価項目（案）

評価項目		評価基準の考え方
生活環境 自然環境	車両通行の影響	車両通行の影響の程度を基準に評価する。
	生物への影響	貴重な生物が確認されている、または近くにいるかどうかなどの状況を基準に評価する。
	放流先の環境基準類型・漁業権	無指定であるか、A類型、AA類型指定があるかなどを基準に評価する。
周辺環境	周辺住宅等状況	近隣の住宅等の密集度を基準に評価する。
	公共施設の位置	除外区域とされる公共施設（学校、幼稚園、保育園、病院）からの距離を基準に評価する。
	廃棄物関連施設の数	周辺の廃棄物関連施設の数を基準に評価する。
	文化財の位置	隣接する状況を基準に評価する。
利水	用水の確保	地下水位利用の可能性を基準に評価する。
都市基盤	都市基盤整備状況（道路、下水道、上水道）	基盤整備されている状況を基準に評価する。
土地取得	土地価格	土地の価格を基準に評価する。
	土地所有	公有地であるか民有地であるかを基準に評価する。
	周辺土地利用等への影響	周辺土地利用等への利便性や環境改善効果の状況を基準に評価する。
災害危険	流域面積の大きさ	流域面積の大きさを基準に評価する。
施工性・経済性	造成の容易性	土地の造成にかかる費用や技術的な容易性を基準に評価する。
	搬入経路の改修工事の必要性	改修にかかる費用、規模を基準に評価する。
収集運搬	主要道路へのアクセス	主要道路の状況やアクセスの容易性を基準に評価する。
省エネルギー等	総運搬距離	総運搬距離を基準に評価する。
	余熱利用	余熱利用の可能性を基準に評価する。

【地理情報システム上での候補地抽出条件】

- ・面積は4ヘクタール程度
- ・比較的平坦な地形
- ・周辺に緩衝帯が設置可能

前提条件

- 1) 安全性
- 2) 焼却量を可能な限り少なくするための施策
- 3) 情報公開

原則

- 1) 環境負荷を可能な限り小さく
(クリーンエネルギー、省エネルギー、資源循環)
- 2) 初期投資(建設関連コスト)を可能な限り小さく
- 3) 後年度負担(管理運営コスト)を可能な限り小さく
- 4) ごみ収集・運搬に係る効率・安全性確保
(アプローチ、燃費、交通渋滞、交通事故危険度、など)
- 5) 受益・波及効果は可能な限り大きく
(温熱利用、緑地、地域活性化、将来発展可能性、環境教育・意識改革効果、など)
- 6) 緊急時対応の容易さ
(施設周辺土地の余裕、近隣都市との連携、など)

上田地域広域連合ごみ問題講演会

ごみ問題講演会

～エコサポート 21 設立 5 周年記念～

「私たちの忘れてきたもの」
(自然からのメッセージ)

【とき】

平成 17 年 12 月 12 日(月)

午後 1 時 30 分から午後 4 時まで

入場無料

【ところ】

上田創造館 文化ホール



講師 武田 徹氏

ごみ問題、自然破壊、
精神の荒廃など私たち
を取り巻くさまざまな
課題を分かりやすくお
話いただき一緒に考え
ましょう。
そして私たちが一度
は、口ずさんだ懐かし
いメロディーをハーモ
ニカとギターのアンサ
ンブルでお楽しみくだ
さい。

プログラム

12:30 開場	進行 エコサポート 21 運営コーディネーター 栗田 たか子氏
13:30 開会	主催者あいさつ
13:35 講演	ごみ問題講演会 武田 徹氏 「私たちの忘れてきたもの」(自然からのメッセージ)
14:30 上田地域広域連合 からのお知らせ	資源循環型施設(統合ごみ処理施設及びリサイクルプラザ)の候補地選定について 資源循環型施設建設候補地選定委員会 委員長 表 秀孝氏(長野大学教授)
15:00 エコサポート 21 の活動紹介	多くの皆さんに支えられた 5 年間 ～ 5 年間の活動報告及び今後の活動に向けて～ エコサポート 21 サポーター代表 太田 芳枝氏
15:20 ミニコンサート	「唱歌のふるさと」 ハーモニカ 武田 徹氏 ギター 角田 忠雄氏

主催	問い合わせ
上田地域広域連合、エコサポート 21 上小地域有機資源循環ネットワーク	上田地域広域連合 ごみ処理広域化推進室 0268-23-2104 エコハウス 0268-23-5144

プロフィール

武田 徹(たけだ とおる)氏

フリーパーソナリティー

信越放送退社後、フリーのパーソナリティー、キャスターとしてラジオテレビなどで活躍。音楽、政治、映画、文学、人間学など、幅広いジャンルに軽妙かつ斬新な切り口がさえわたっている。カウンセリングマインドをもったの講演活動も展開。長野県版地域限定有名人の一人。

早稲田大学卒 「つれづれ遊学舎」主宰

角田 忠雄(つのだ ただお)氏

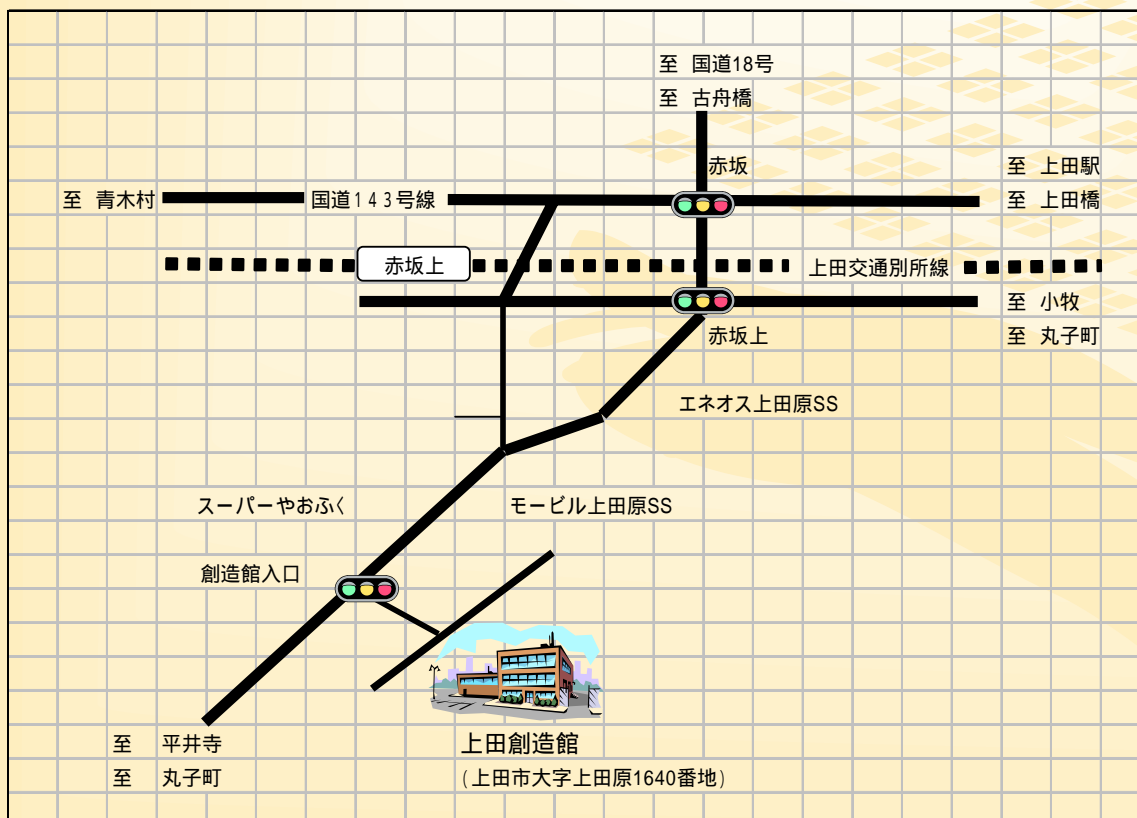
ギタリスト

8歳からギターに親しみ、高校時代より長野市周辺ミュージシャンのセッションに参加する。中央大学法学部1年生のとき、ジョージ川口(ドラムス)のツアーに参加。この頃プロギタリストになる決意を固める。22歳のとき石井好子、芦野宏等の伴奏、ポニージャックスのソビエト演奏旅行に参加する。以降、ジュディ・オング、松本伊代、森田公一、菅原洋一等の伴奏、NTV「TOP10」「カックラキン大放送」「スター誕生」等放送の仕事、ライブハウスやスタジオワーク等幅広く経験する。

現在は長野に戻りギター演奏、コンサートでの活躍のかたわら、ギター教室を開く。生ギターの音色に心癒されるファンが多い。

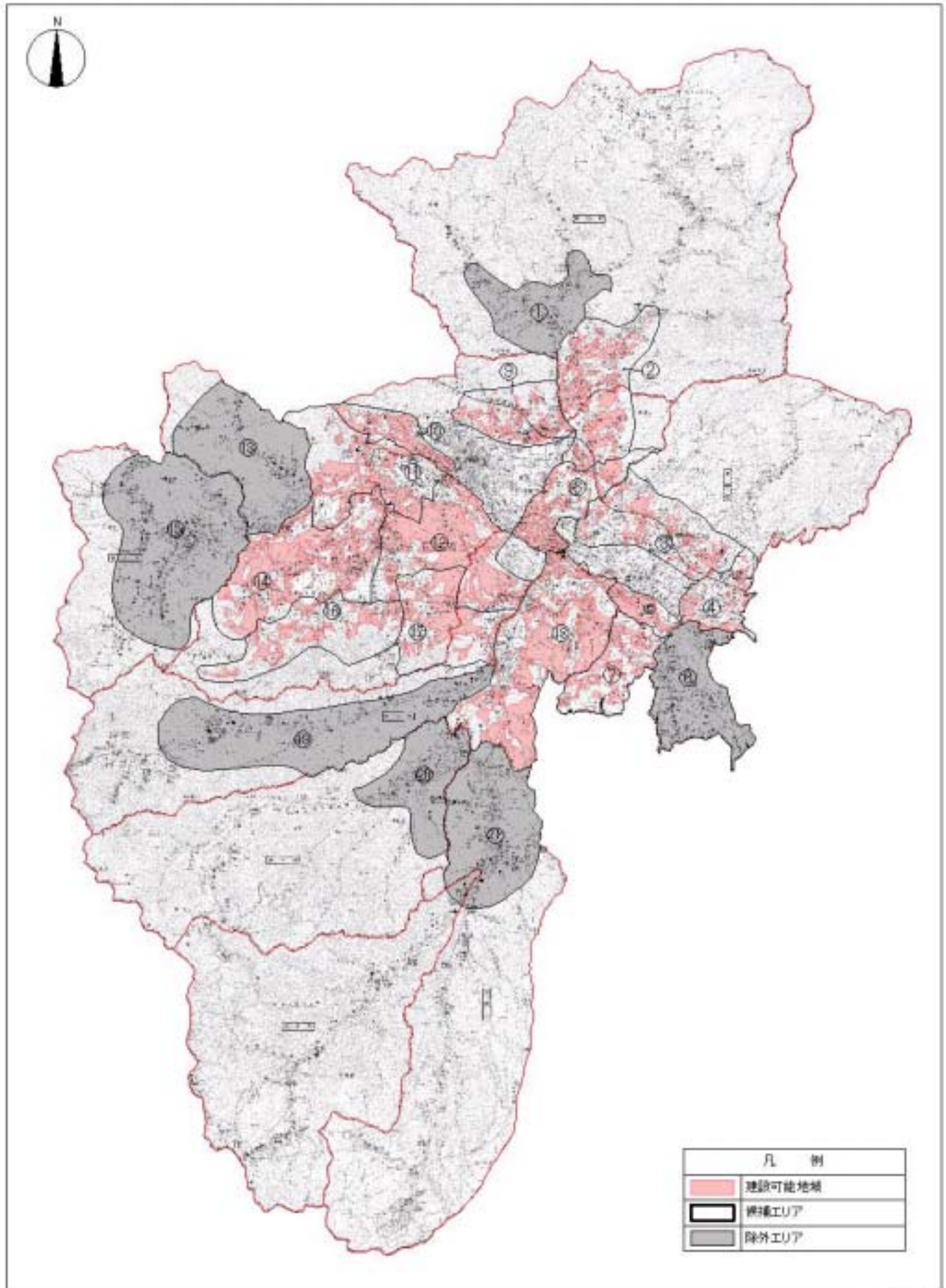
ギターショップ「アンダーカレント」主宰

会場案内



駐車場が少ないので、できるだけ電車や相乗りでお越しください。

建設可能地域図 第6回委員会決定事項



建設可能区域図

